



## Auktorisoidun kääntäjän tutkinto 12.11.2016

Kielet ja käännösuunta  
japanista suomeen

Aihepiiri (aukt3)  
koulutus

### Käännöstehtävä

Laadi liiteasiakirjasta laillisesti pätevä käännös

Lähteet:

<https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/gakubu0100.htm>

<https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/gakubu0103.htm>

### Käännöksen käyttötarkoitus

Ammattipätevyyden tunnustamista varten

*Huom! Käännökseen ei saa kirjoittaa vakuuslauseketta eikä nimeä!  
Vakuuslausekkeen tai nimen kirjoittaminen käännökseen johtaa  
tutkintosuorituksen hylkäämiseen.*

Tekstissä on 886 merkkiä. Translitteroituna käännettävän tekstin pituus 2049 merkkiä.

## 秋田県立大学

### システム科学技術学部

高機能、高効率、高精度のロボット、工作機械、通信・制御システム、高機能ビル等々、現代の「ものづくり」は極めて高度で、深い専門的知識がなければ取り組めません。一方、「ものづくり」の大局的な目的が、より良い社会の持続的発展に寄与することであるとすれば、限られた分野の専門的知識だけでなく、新材料の開発から、構造的安全性、制御性、経済性、さらには生命・環境影響の評価など、広い範囲の科学・技術に対する知識を基礎として、それらを総合化することが、これからの「ものづくり」のあり方といえます。さらには、目指すべき社会の理念や技術者としての倫理観など、深い見識も必要です。

/- - /

本学部は、大学院組織を背景とした最新の研究施設、新しい経営のセンスや起業家精神、コミュニケーションのためのプレゼンテーション能力など、専門知識以外の要素にも力を入れた教育を行っています。さらに、新入生を対象に、自主研究の制度を持っており、この制度は、文部科学省の特色ある教育支援プログラムにも選ばれました。

/- - /

### 建築環境システム学科

「建築学」は、多方面の知識・経験・感性などを総動員して「あらゆる分野を統合する工学芸術」である点が際立った特長となっています。ひとつの住宅設計でも、統合すべき対象は、地域・都市としての空間・環境、あるいは地球環境のスケールまで及ぶ場合もあります。優れた建築空間を実現するためには、建築をシステムとして捉え、幅広い視点で総合的に学び、研究しなければなりません。

本学科では、「寒地建築の環境設計」、「木質構造」などの地域特性に富んだカリキュラムや、即戦力が求められる社会のニーズに応えるためのCAD設計システムなどを加え、新しい時代に対応した総合的な建築教育と研究開発に取り組んでいます。

/- - /

### 建築環境システム学科 専門科目

建築設計基礎	建築設計 I	建築CAD演習
都市・建築計画学概論	建築計画 I	建築計画と風土
都市計画	日本建築史・西洋建築史	近代建築史
建築環境基礎論	室内気候計画 I	室内気候計画 I 演習
建築音・光環境	建築設備	建築構造学概論

/- - /